

運ぶ はこ

運ぶ はこ

預言者エリヤがイスラエルの王アハブと対決して、  
「数年の間、露も降りず、雨も降らない」ことを伝え  
た後に身を隠した時、鳥の運んで来たパンと肉で養  
われたと伝えられています。

自分で「運ぶ」ことをしなくても、誰か他のものが  
代りに運んでくれるのです。人は自分の力だけで生  
きているのではなく、いつも神によって生かされてい

ることに気づくべきなのです。

### 中風の人を運んだ人 ちゆうふう ひと はこ

今日の福音書でイエスさまが中風の人をいやす  
場面が描かれています。ここでイエスは、中風の人の  
信仰ではなく、中風の人を運んで来た四人の男の人  
の信仰を見て、中風の人に、「子よ、あなたの罪は赦さ  
れる」と言われました。

中風の人には病気のために自分でイエスのもとに近  
づくことができませんでした。この人に代って、四人  
の男の人がイエスさまに近づく手助けをしたのです。

たとえ、本人の信仰でなくても、回りの誰かの信仰

があれば、その人の罪が赦されるのです。個人の信仰

の大切さを考えると、なんとなく受け入れにくいこ

とです。しかし、共同体の信仰や、親の信仰によつ

て幼児洗礼を授けたりすることを考えると、本人の

信仰でなくても、神の恵みを頂くことができるので

す。

ここで大切なのは、「運ぶ」という行動です。自分の

ためではなく、人のために労苦を惜しまない行動こそ

が大切なのです。

自分たちが人のためにどんなことができるか考え

て、次の空白に書いて下さい。

